おしゃれぐせ

おしゃれは　何と言っても　感覚を　みがく
ことだ　「ぜいたく」という　言葉で　軽蔑されるが
文化の　におい　伝統の　かおり　いろんなことを
考えると　いろんな国の　どくとくの
色づかい　いいものと　言うのが　ある
仕事で　いそがしかった　ころ　自分の　おしゃれに
夢中だった
もっと　手を　加えたり　組合せを　かえたりと
たのしかった

いつの間にか　おしゃれから　遠ざかり　「イヤリ
ング」「ブローチ」「スカーフ」「ショール」　今
でも　心　ひかれるが　残っている
着るものなど　もらってくれる　人もいない
流行に　そぐわない　品ばかり　この　頃だ
少し　前から　去年までの　ものを　どんく
処分した　急に　寒くなって　冬物の　季節に
なった
新らしく　買ったセーター　四枚　コート　一枚
それ　だけだ　新が　少ないと　管理　する　幅が　広

いらすれば　楽だ　ふやすのをやめよう
と思っていたが　「もっといい」と　考えなくせが出た
ボレロ　ボレロだ　ぐるぐるまわるのなかなか楽だ
ふやすのをやめようと思いしたのだ　そんな
のどてーやう
ハこかしにかかっている「ボレロ」をすがす
これを着るチャンスがきるだろうかと考える
買う前に着ればよかった
八十代になっても　すすきいろ　おしゃれぐせ
年に関係なく　「おしゃれ」がしたいのだ

胸の流れは早い　どのようにおしゃれをする
か　そどっていたのが　ふっきれたのかもしれ
ない

2019
11/21